

平成25年度秋田地域保健医療福祉協議会 議事要旨

日 時：平成26年2月10日（月） 午後1時30分～午後3時
場 所：ルポールみずほ ききょうの間
出席委員：21名中16名（※別紙のとおり）

1 報告

・部会報告について

資料1により各専門部会の開催状況・内容について神田部会長から報告があった。
質疑は特になかった。

2 説明

・地域包括ケアシステムの構築に向けて

資料2～4により医療・介護・福祉の連携に係る取組の方向性や当部の関連事業について事務局から説明した後、質疑を行った。

福島委員：在宅医療は地域包括ケアシステムの根幹をなすと考えるが、要介護度が低くある程度自立可能な方と、要介護度3以上で介護に軸足を置かざるをえない方では、同じ在宅医療でも質が全く異なる。

金子課長：そのとおりである。重要なのは、できるだけ長く自宅で生活したいという方の思いをどう実現していくかという視点。在宅医療の内容は様々であり、さらに議論を深めていく必要がある。

杉山委員：認知症高齢者が増加しているが、特に身体が元気な方への対応が課題。ゆったりした閉鎖空間は鎮静化作用があり、老健施設等の認知症専門棟であれば比較的自由に暮らせるが、在宅であれば地域でどう見守っていくかが難しいところ。在宅において重要な家族の関わり方も変化してきており、以前は嫁が我慢して面倒をみていたが、最近では見捨てられて単身になるケースも少なくない。

福島委員：核家族化とともに老老介護の問題も深刻。御主人の病状を奥さんに伝えても正確に伝わっているか不安な時がある。

石田委員：課題は多いが、失敗を恐れずに取組を進めていかないといけない。秋田周辺地域は広いので、もう少しコンパクトな範囲で地域課題を積み上げた方がよい。歯科医師会では口腔ケアに力を入れて積極的に往診しているのでぜひ利用していただきたい。専門的なケアを知っていただければ、家族やヘルパー等関係者の意識向上も期待できる。

福島委員：在宅医療はケースバイケースで確たる方向性を示すのが難しい。要介護度が高く意思疎通が困難な患者の場合は子どもや家族の意識も大きく影響する。

朝野委員：経済的理由で施設に入所できず在宅を選択せざるをえないケースもあり、社協としてもサポートが必要と考える。

鑑委員：福祉ニーズは複雑多様化しており、個々の状況に応じた取組が必要と考える。

伊藤委員：秋田市では福祉保健部が中心となって関係団体の連携促進に取り組んでいるが、市保健所としても同部と調整を図りながら取り組んでいきたい。

加藤委員：五城目町は平成27年に高齢者数がピークを迎えるとの説明があったが、高齢者の単身世帯の増加や空き家の増加に危機感を抱いており、早期の取組が必要と感じる。

北嶋委員：在宅での看取りを可能にすることは大変意義があると思うので、地域を巻き込んだ取組を進めてほしい。

小玉委員：報告書に挙げられた課題はまさにそのとおりだと思うので、課題解決のため県に指導力を発揮してほしい。

齋藤委員：食生活改善推進協議会に所属しているが、地域で何ができるのかを示していただければ、会としても新たな取組に結びつけられるのではないかと思う。

佐藤(朋)委員：介護施設に勤務しているが、多職種の交流が必要と感じる。現場からどのようなアプローチが可能か考えていきたい。

佐藤(志)委員：訪問看護体制の整備について、病院勤務等を経ずにいきなり新卒の看護師が訪問看護というのは現実的ではない。看護協会でも訪問看護の研修を行っているが、興味のある人をバックアップしていく取組が必要と考える。

能登委員：薬剤師会では残薬整理や服薬に関する訪問指導を行っているが、在宅患者訪問薬剤管理指導料は算定のハードルが非常に高く、あまり算定していないのが現状。

畠山委員：町の来年度予算の編成中だが、民生費、扶助費が右肩上がりの状況。町としては、高齢者ができるだけ長く自立して生活できるよう施策を講じているが、在宅介護も今後力を入れていく必要がある分野と考える。

山本委員：認知症高齢者の予防についてどういった認識を持っているか？

金子課長：認知症は最新の医療では進行を遅らせることができるようになってきているが、予防が重要との意見も多く、県の次期プランにも関連施策を盛り込む予定。昨年10月に開設した認知症疾患医療センターとも連携しながら取組を進めたい。

3 その他

山本委員：参考資料の「秋田県新型インフルエンザ等対策行動計画の概要」について、最近流行しているノロウイルスに関する記載がないが、どういう整理か？

山本部長：新型インフルエンザについては、危機管理上特に重要な案件として特別措置法が施行されており、その規定に基づき県でも行動計画を策定したもの。医療救急合同部会でも協議していただいたことから、参考資料として提供した。

児玉次長：ノロウイルス対策も重要と認識しており、施設や事業者への指導を継続的に行っている。

平成25年度秋田地域保健医療福祉協議会 出席委員

五十音順

氏名	役職	
朝野 暢 稔	五城目町社会福祉協議会 事務局長	出席
鑑 利 行	潟上市副市長	出席
石田 達 郎	秋田市歯科医師会 会長	出席
伊藤 正 孝	男鹿市副市長	
伊藤 千 鶴	秋田市保健所長	出席
加藤 政 光	湖東3町商工会 会長	出席
鎌田 潔	秋田市副市長	
神田 仁	男鹿潟上南秋医師会 会長	出席
北嶋 満 雄	秋田県生活衛生関係営業秋田地方連絡協議会 会長	出席
小玉 喜久子	秋田周辺地区結核予防婦人会連合会 会長	出席
小西 一 峰	男鹿市南秋田郡歯科医師会 会長	
齋藤 カヅ子	秋田周辺地域食生活改善推進協議会 会長	出席
佐藤 保	秋田市民生児童委員協議会 会長	
佐藤 朋 子	秋田県栄養士会 理事	出席
佐藤 志 子	秋田県看護協会秋田臨海地区支部 第一地区副支部長	出席
杉山 和	秋田県病院協会 理事	出席
能登 泰 之	秋田県薬剤師会秋田中央支部 支部長	出席
畠山 菊 夫	南秋田郡町村行政連絡協議会会長（八郎潟町長）	出席
廣嶋 徹	秋田県教育庁中央教育事務所長	
福島 幸 隆	秋田市医師会 会長	出席
山本 次 夫	秋田中央食品衛生協会 会長	出席